

ことばときこえ



青梅市立河辺小学校
校長 関谷 望
ことばときこえの教室
〒198-0036 青梅市河辺町 5-24
TEL 0428-22-2103(直通)
発行日：令和2年4月

一人一人が輝き、楽しい学校生活のために

校長 関谷 望

令和2年度がスタートしました。4月より、河辺小学校 校長に着任いたしました 関谷 望（せきや のぞむ）と申します。一人一人が輝き、楽しい学校生活を送れるよう、全力で努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。子供たちも入学・進級の季節を迎え、やる気いっぱい気持ちでいることと思います。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休校で、本格的な令和2年度のスタートは1か月遅れとなり、とても残念です。大きな難局ですが、常にその時の最善は何かを判断し、教育活動を進めてまいります。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

今年度「ことばときこえの教室」に通級するお子さんは、4月1日現在、「ことばの教室」に49名、「きこえの教室」に5名、合計54名でのスタートです。よろしくお願いいたします。

お世話になりました

河辺小学校には7年間お世話になりました。7年間は過ぎてしまえばあっという間でしたが、1年生から小学校卒業までの成長と一緒に見守らせていただいたお子さんもいて、そう考えると長い時間を過ごさせていただいたのだと改めて感じています。ことばときこえの教室では保護者の方と近い気持ちで、お子さんが挑戦しようとしていることを応援させていただいたり、できるようになったことや嬉しい体験と一緒に喜び合ったりと、たくさんの貴重な時間を過ごさせていただきました。関わらせていただいた全てのお子さんが、自信をもってことばときこえの教室を巣立っていくところまで見届けたい思いですが、この度、異動することになりました。私も新しい学校で頑張りますので、皆さんも新しい出会いを大切に、それぞれの目標に向けて取り組んでいってください。心から応援しています。これまでお世話になり、本当にありがとうございました。

よろしくお願ひします

初めまして。昨年度まで、同じ河辺小学校の3年生から6年生までの図工を教えていました。初任も青梅市でしたが、三鷹や小笠原で担任を経験し、新島で図工専科を経て再び河辺小学校に戻って来ました。ことばときこえの教室は、担任をしていた子供が、専門的指導で成長していく姿を見て、ずっと関わってみたい分野です。専門的な学習を深め、担任と専科の経験をいかした指導をしてきたいと思っています。自然、海、ダイビングやテニスなどスポーツ色々、料理、工作、旅行、花、手話、動物大好き。どうぞ、よろしくお願ひします。

今年度の担任は6名です。



前期の予定



- | | |
|--------------------|---------------------|
| ・全体保護者会（中止） | ・親と子の集い（全体グループ）（中止） |
| ・在籍校訪問（未定） | 7月15日（水） 1学期指導終了 |
| ・1学期指導開始（未定） | 9月 1日（月） 2学期指導開始 |
| ・公開相談・施設見学（9月延期予定） | 9月15日（火） 通級支援委員会 |

「ことばときこえの教室」 あんない

■「ことばときこえの教室」は通級制の学級です。

普段は在籍している学校（通常級）で学習しながら、週に1～2回（1回45分～90分）ことばときこえの教室に通って指導を受けます。個別指導が中心ですが、一部グループ指導も行っています。



■このようなお子さんが通っています。

- ☆ 発音に誤りがある
さかな→チャカナ、タカナ らくだ→ダクダ きりん→チリン 全体的に不明瞭 など
- ☆ 話し言葉のリズムが乱れる
「オオオカーサン」と繰り返したり、「ボークハネ」と音を引き伸ばしたり、言葉の始めや途中で詰まってしまうたり、手足や身体を曲げて反動をつけたりする。
- ☆ 言葉の発達の遅れ
言いたいことをうまく言葉で表現できない。年齢より幼い話し方をする。
- ☆ 読んだり書いたりするのが苦手
ひらがなや漢字が覚えにくい。読み誤りが多く、読み方がいつまでもたどたどしい。
- ☆ 難聴がある
難聴があるため、聞くことや話すことがうまくできない。聞き間違いや聞き漏らしが多い。補聴器を装着していて、聞こえにくさに対するさまざまな配慮が必要である。

■このような指導をしています。

- ☆ 言葉や聞こえなどの検査を行い、一人一人の子供の状態に合わせた指導方法を選びます。
- ☆ 人とのやり取りや伝え合いを豊かにしながら、言葉の理解力と表現力、読み書きの力などを高めます。
- ☆ 発語器官の機能を高め、発音の改善指導を行います。
- ☆ 吃音が進行しないように環境の改善を図り、生き生きとした自己表現ができるように促します。必要に応じて力の入らない話し方も学習します。
- ☆ 難聴のあるお子さんには、聴力の変動が無いか確かめをしたり、補聴器を活用するなどして聞こえやすい条件を整えたりします。

■指導の内容は、子供一人一人によって違います。

- ☆ 言葉の状態および全体的な発達を、言語検査、聴力検査、心理面の検査などによって確かめながら、指導の方法を計画します。
- ☆ 学級担任の先生や養護の先生と連絡を取り、保護者の協力を得て指導を進めていきます。

心配のあるお子さんについては、まずは「初回相談」を申し込んでいただき、その結果を踏まえて保護者の方と一緒に対応を考えます。
分からないことがありましたら、教室までお問い合わせください。

河辺小ことばときこえの教室直通☎ 22-2103